

社会福祉法人なごみ福祉会 療育相談 でんでん虫

We love music
Let's enjoy music together



41 歩



〒214-0012 川崎市多摩区中野島 4-3-28 TEL : 044-911-2612 FAX : 044-911-0462
Mail : dendenmushi@nagomi-fukushi.or.jp

みなさん、お元気ですか？

2022 年度は『親と子の寺子屋でんでん虫の家』が療育相談の事業を開始して 41 年目、平成 18 年に法人の公益事業として位置づけられて 17 年目の年でした。

2022 年度も新型コロナウイルスの感染拡大による影響は大きくありましたが、反面日常が戻りつつあることを感じた一年でもありました。人数制限が緩和され、配慮しつつでも人が集う行事に取り組むようになり、少しずつ縮小からの回復を感じてきました。『制限のある中での代替え案』という考え方で過ごした前期、『明確に目的を持って取り組んで行く』という実践に繋げた後期という一年だったと思います。

6 月にはコロナ感染が一時落ち着いたように見え、前年度延期をしていたでんでん虫の音楽発表会『第 28 回ポプラの音楽会』を、12 月には規模は小さくとも再開しよう！と『第 39 回でんでん虫クリスマス会』を、そして 3 月には『第 29 回ポプラの音楽会』を、多摩川あゆ工房のホールで行なうことが出来ました。人数制限、時間制限、換気、消毒、すべて『有り』でしたが、3 年ぶりの対面での会に、会場は終始温かい感動に包まれました。

残念なことに、7 月からのコロナ第 7 波影響で、夏に予定していた教職員向けの『でんでん虫音楽療法研修会』、『保護者向け学習会』等は、中止することにしました。

永年、地域との交流・共生教育への貢献との思いで取り組んできました学校支援の実施件数は、コロナ以前と比較すると 3 割ほど減り、コロナ禍の 3 年間はほぼ横這いでした。しかし、20 年以上に渡り続けてきた南生田小学校とのジョイントコンサートは 5 月の時点で中止。やはり 10 年以上続いていた高津小学校でのふれあいコンサートは、2022 年度限りで中止が決定しました。特別な思いを持って取り組んできた活動でしたが、コロナ自粛が長引いている間に、取り組みの意義が不確かなものになってしまったように感じています。再度の関係作りが必要になっています。

また、2022 年度は、常勤雇用予定で採用した職員（音楽療法士）の年度半ばでの退職。年度末には常勤（音楽療法士）1 名、非常勤（音楽療法士）2 名の退職という、活動の維持も難しくなる状況かと、皆さまには大変ご心配をおかけしました。

幸い、年度末ぎりぎりに非常勤 2 名の採用が決まり、更に現非常勤職員の就業時間増という協力が得られたことで、定期的な外来療育や施設支援は、何とか継続の見通しを立てることが出来ました。しかし、現在もぎりぎりの状況であることは確かですので、職員の確保は必須の課題として、今後も取り組んで参ります。

地域療育事業部部長

療育相談でんでん虫代表 渡邊紀子



2022 年度 活動報告

【外来療育】

♪通常プログラム

2021 年度に続き、新型コロナウイルスの感染対策等を行いながらの活動となりました。利用者、そのご家族、スタッフも含め感染し静養をしなければならないこともありました。大きな感染拡大は無く活動を中止する事態にはならず済みました。

2021 年度に出来なかったことを少しでも前に進め、活動やその歴史を継続してゆけるようにと考えながら、外来療育、学校・施設支援、行事、訪問相談などに取り組んできました。

●感染対策は前年度から引き続き行っています。手洗い消毒・マスク・使用楽器や室内の消毒・換気リズムの時間短縮、活動内容の工夫は引き続き行ってまいりました。

	提供プログラム	利用人数	年間回数	延べ回数
1	外来療育 (個別・グループ・言語)	79	232	1523
2	健康体操 (1 回 8 名定員)	11	24	264
3	YY プロジェクト	8	23	184
4	太鼓クラブ	10	12	120
5	サイエンスクラブ	5	11	55
6	土曜親子リズム	7	12	84
	合計	120	314	2230

利用者の年齢は 2 歳～60 歳代まで



仲間とゲーム

良い年になりますように…



【年間行事や外部講師による特別プログラム等】

昨年に続き感染状況を見て、行事の実施のタイミングを常に検討しつつの年度ではありましたが、施設支援で音楽活動をしている事業所の仲間が集まったのクリスマス会、チャリティーコンサート HappyNotes、ポプラの音楽会は当日の人数や進行の仕方に工夫し実施することが出来ました。行事は発表会の場となるだけでなく、参加者同士の交流、活動への意欲や達成感喜びにも繋がる機会でした。



【学校・施設支援】

感染拡大防止の観点と年々支援級在籍児童数が増え、支援級の児童数が多い学校は全員で行うことを避け、2グループにして行う学校も増えました。

支援級担当の先生方と次の活動に向けて様子を話し合う時間を引き続き大切にと考え、活動の振り返りだけではなく情報交換も行える時間となっています。



●「高津小学校での共生コンサート〜地域活動支援センターアルデンテのみなさん」

5年生の児童を対象に「地域活動支援センターアルデンテ」についての説明と皆さんの日頃の仕事内容、何が自分は好きなのか?などを一人一人が自分の言葉で発表しました。5年生もしっかり注目して聞き、その後のアルデンテとでんでん虫スタッフによるミニコンサートにノリノリで参加し、5年生が♪ロックソーランを踊る時には児童の中にアルデンテの皆さんが混ざり一緒に踊りました。「もうちょっとこっちにドウゾ」「♪ロックソーランは激しいんだよね」など自然に言葉を交わしながらエネルギーに踊り時間を共有しました。



楽しい時間であると共に「共生」ということを児童・教職員、参加した一人一人が何かを感じ、考えるきっかけとなればと思います。

楽しい時間であると共に「共生」ということを児童・教職員、参加した一人一人が何かを感じ、考えるきっかけとなればと思います。

		リズム
小学校	21校	57回
外部施設・作業所	8か所	95回
星槎大学（適応自立支援コース）		25回
夜間保育所あいいくリズム		6回
高津小学校共生コンサート		1回
合計		184回



【法人内連携（音楽活動）】

あゆ工房（集団 45回・個別 75回）	120回	なごみ保育園	29回
夢花工房（夢花 45・デイリー16・ドリフラ 22）	83回	太子堂なごみ保育園	24回
児童デイサービスここから	43回	梅ヶ丘なごみ保育園	23回
放課後等デイサービスここから	44回	三宿の杜なごみ保育園	12回
放課後等デイサービスドリーム	2回	北鳥山なごみ保育園	22回
子育て支援センターベジブル	12回	合計	392回

保育園・児童デイ・放課後デイ・子育て支援センターとの連携は、音楽リズムの活動だけでなく、発達に心配のみられる子どもの相談にも繋がっています。保護者の不安、どのような対応や手立てが必要なのか?共に考え不安を軽減しながら子育てに向かえるようにしたいと考えています。 栗原敦子

ワイワイ YYプロジェクト

参加者は現在男女8名。

日中はそれぞれの作業所にて仕事や活動に取り組み、夕方の18:00から自力や家族の送迎、事業所の送迎等を利用しながらでんでん虫に集まって来ています。

楽しく好きな活動に仲間と共に取り組み、楽しみ、その時間を共有することでまた行きたいと思い、自分の気持ちや生活の何かに繋がるような活動になると良いなと考えています。活動内容は自立・社会参加活動に繋げる事を目的としています。コロナ以前は毎日の生活の営みの中に欠かせない調理活動が主だっていました。調理活動は考える・役割分担・協力・責任を持つなど、あらゆる要素が入っていました。



しかしこの3年間新型コロナウイルスの感染により、調理活動・飲食の自粛など制約のある活動を強いることになってしまいました。調理には取り組みなくても、仲間と^{わいわい}言い合いながら共に過ごすことが出来る活動を考えていきました。でんでん虫の事務所前の待合の壁面を季節によって制作した飾りは、いらした皆さんの目にとめていただいたかと思います。また、みんなで作ってYYの時に着よう！



とTシャツを「タイダイ染め」で染めたり、ゲームや音楽、自分の趣味の紹介など等に取り組みました。

様々な活動の中で仲間の取り組む姿をみて学んだり、尊敬したり、フォローしたりとそれぞれの個性が生かし合い、誰が欠けても寂しいと思える今になっています。

2023年度はコロナの5類移行を踏まえて活動をもとに戻すのではなくより発展へと少しづつ前進させてゆきたいと考えています。

成人の余暇を楽しむ活動

でんでん虫ではYYプロジェクトの他にも、太鼓クラブ、ボルケーノ、スマイル(高校生以上)など、自宅からの来所、ホームなどから送迎車、移動支援などのヘルパー送迎などで自分のやりたいことを楽しむために来所し活動している方が多くいます。やりたいと思うことを実現させること、それを支えることで、明日また元気に生活できることに繋がればと思います。



～～～地域の子ども達や親子との出会い～～～

【子育て支援センターページブルの親子リズム】 毎回定員 10 組 2 グループ

形態や人数を変えながらも途切れることなく、ページブルを利用している親子を対象におこなってきました。

「歩き始めたからいよいよデビュー」と楽しみにして参加してくれた親子、ドンドン先輩になり幼稚園に入園していく子ども達。小さい時に参加していた子がもう小学校卒業の年になる、中学生になったという嬉しい風の便りがやってくると私達スタッフは嬉しくホッとします。

地域子育て支援センターがまだない時代から、障がいの有無に関わらず、地域の子どもたちやお母さんたちを受け止め、子育てや子どもの育ちを支えることを行ってきたなごみ福祉会の原点があり、その継続的な理念や思いを現在もでんでん虫では子育て支援センターページブルのスタッフと連携して取り組んでいます。

いつの時代でも大人が一生懸命共に楽しむと子どもたちはおおいにそれに応えるようにエネルギーを出してくれます。

小さな時はその楽しさを心と同時に身体も共に一緒に楽しむことが大切です。お母さんと（時にはお父さん）その時間を体験できるようなプログラムを提供し子ども達の育ちを一緒に見守りたいと思います。

子育てを支える事は子どもの育ちを支えること。子どもとお母さんが向き合い楽しいと思う時間を共有できることは親子関係の構築の第一歩。心配なことはいつでも相談出来ること、それを遠くの知らない誰かに相談するのではなく顔見知りから繋ぎ、繋いでゆけるような関係作りを大切にすること。地域への子育て支援は今後も継続してゆきたい活動です。



【でんでん虫サイエンスクラブ】 講師：藤高信男先生

小学1年生から6年生までが対象です。（少人数）

サイエンスと言っても不思議なことは科学、生物、植物、天文、地学等々多岐にわたります。藤高先生はそこから毎月違うテーマを考え、子ども達が行う実験や制作の準備を整えて子ども達と関わって下さっています。子どもたちは毎回「あれ？」「なんで？」「わかった！」の連続です。1年生で小さかった子ども達が成長し、自分たちが卒業して行った先輩からしてもらったように年少者や新入りさんを見守り時に助け舟を出し共に楽しむ姿は微笑ましく頼もしくもあります。主役は子ども達で大人はルール違反したら注意しますが、あとは子どもが気づく為の声掛けや問いかけで十分です。

先生が前に立ちクラブが始まるぎりぎりまで先生に問答のように話しかけたり、子ども同士（もう身体は大きいです）鬼ごっこや隠れて驚かせあったりして、サイエンス以外の楽しさもあるようです。皆違う小学校、地域から集まっている子ども達。友達や知り合いが増えることは必ずしも学校の中だけではないということです。子どもたちの世界がどんどん広がっていくようです。



夢花ドリームフラワーズ 毎月第2・4火曜日・午後 アンサンブルにて

3グループに分かれての活動になって3年目となり、それぞれのグループの個性がさらに現れてきました。

テーマ曲「夢花ドリフラ」は毎回歌って踊りますが、ダンスにキレが出てきた方、歌いながら踊るようになってきた方、ダンスの動きに少し勢いをつけて周囲も巻き込み新しいスタイルで楽しむようになったグループもあります。鳴子やタンバリンでのソロダンスでは、独自の踊りを工夫して「自分スタイル」を築いてきた方々も多く、音楽の中で自由に即興的に表現します。今日はどんなダンスかな？おおー、すごい！と見ている人も一緒に楽しめます。コンガでたたきたい曲、季節の歌などリクエストも出してくださいませ。一人のやりたいことをみんなと共有して、いいね、と楽しめることでグループの一体感を味わうことが出来ます。

12月にはクリスマス会に参加。久しぶりの行事で、他施設の方々と一堂に会してお互いの発表を聞きあい、「夢花ドリフラ」を皆さんと一緒に踊ることが出来ました。大勢で集まることの楽しさも思い出し、次年度はさらにそんなチャンスも増えるかな？と期待しつつ、年度の終わりには新しい曲にも取り組んでいます。

デイリー

毎月第1・3火曜日午後 モンマルトルにて

22年度は感染予防のために音楽活動が中止になることも何度かありましたが、そんな中でも明るく、落ち着いて和気あいあいと楽しむことが出来ました。利用者さんお一人お一人の体調などにも配慮しながら、無理のないように、だけど気持ちが温まるようにいつも職員の方々が声をかけ、励ましたり隣にいたりしてくださいました。

一斉に立ち上がって動くということは難しくなっているため、座ったままで、だけど上体も脚もいろいろに動かせるよう、手ぬぐい体操やおなじみのパルパルダンスなど…職員の方と組んで行いました。それ、やりたい！今度は私！とみなさん積極的。その場で立ち上がって踊りだす方、2回続けて踊る方、今日は少しだけという方、それぞれに合わせながらみんなで楽しくなれるように進めています。

6月にはデイリーの皆さんがでんでん虫の“ポプラの音楽会”のために、会場に飾るすてきなプレートを作成してくださいませ、持ってきてくださいました。音楽以外でも交流できたことをうれしく思います。またお願いします！

次年度も、掛け声あり、ダンスあり、笑いあり、楽器争奪じゃんけんあり…穏やかににぎやかに一緒に楽しんでいきましょう！

(記:金澤)

夢花ポパイリズム

毎週月曜日午前 あゆ工房ホールにて

8名の利用者の皆さんを2グループに分けそれぞれが隔週で行っています。

それぞれのグループの様子に合わせたプログラム内容で行っていますが、女性4名チームは「ミルクティーグループ」と名前を付けてテーマソングまで作ってしまいました。月日を重ねて楽しい活動を共有する中、それぞれの皆さんが期待感いっぱいに来所していることがこちらにもはっきりと判ります。車から降りるなり、ニコニコと笑みを浮かべて走り込んで来てくれる、新しい歌やダンス、楽曲にやる気満々で取り組んでくれる姿は皆さんのエネルギーを感じさせてくれます。

一人一台ずつの和太鼓を全身の力を込めて打ち込み一体となって楽しむダイナミックさ、リボンやチアガールのようなキラキラのポンポンをもって動き踊る、自分とみんなのリズムや声がかみ合う楽しさ、自分の表現を音楽とやり取りし満足する、綺麗な音楽や音色、響きを奏でそれを仲間と共有するなど音楽表現や活動を経験し「またやりたいな」「また来よう」「気持ちよく今日の次の活動に向かえる」そんなことを目指していきたい活動です。

(記:栗原)



《星槎大学 適応自立支援コース》

4月に3名の一年生を迎え、7名でスタートしました。「先輩」となった二年生は上級生の実感を味わいながら、即興でダンスをしたり楽器を鳴らしたりすることにも普段通り自然に授業の流れの中で表現したのですが、初めてそれを見る一年生はその迫力に圧倒されてビックリ！。毎回、全体が打ち解けたり、一緒に楽しめるようボールを使ってゲーム的に考えたり遊んだりすることも行いながら、音楽の表現にもつなげられるように、そして一緒に音楽を作り上げていけるように進んでいきました。

6月には木工の講師を招いて鳴子作り。電動糸のこ、釘打ち、ペンキ塗りで素敵な“マイ鳴子”を制作して「よっちょれ」を踊るときに使いました。

11月の授業発表会で演奏することも早くから意識し、この曲をこうやったら見ていて楽しい、この曲はここを聞いてもらいたい、この時にこうしたらどうだろう、などの工夫が出されました。知っている曲も知らなかった曲もこの場所で体験することで自分たちの“おなじみ曲”となり、楽器を演奏したり掛け声や合いの手を声で入れたりすることもスムーズになって、合間のソロでの即興演奏もみんなで楽しめるようになりました。



年度途中に進路決定した方が卒業して人数は減っていき、喜ばしいことだけれど寂しさも味わいました。11月の授業発表会当日には、4名での発表となりました。しかし、そのような状況の中でも助け合ってお客さんの笑顔を誘ったり、たくさんの拍手をいただいたりして無事に発表を終えることが出来ました。

後期の後半は一人一曲を選び、それをどのようにみんなで演奏するかプロデュースします。この曲でギターに挑戦、あの曲でピアノに挑戦、経験あるフルートでこの歌を演奏、大好きなグループのダンスをリード、それぞれが選んだ曲でリーダーとなります。年度最後の授業日には保護者と先生方をお招きしてミニ発表会を行いました。学生の皆さんは授業前や放課後に練習したり、家で練習したり見えないところで努力を重ねて、心配そうだった保護者の方を“裏切って”見事に演奏し大拍手！でした。

いつも授業のために机を移動したり楽器を運んだりする準備や片付けも学生の皆さんが率先して協力してくださり、開始から終了まで「みんなで作る時間」となりました。すでに次の年はどんな発表をしようかと思いつめぐらしている人もいて、次年度も楽しみです。

2022年度の行事

6月に前年度(2021)分のポプラの音楽会、12月10日に第39回でんでん虫クリスマス会、12月15日にアルデンテが出演した高津小学校でのふれあいコンサート、そして3月11日に今年度の第29回ポプラの音楽会を行いました。

お互いに顔を合わせて演奏を聴き合う機会が一気に再開した一年でした。

演奏者の情熱と、それを受け取った会場との一体感が懐かしくて、嬉しく感じるひとときでした。



無事に会を終えられるようにとスタッフは不安も抱えつつ準備を進めていましたが、いざ本番が始まり、久しぶりのこの場を楽しんでいる出演者の表情を見ると不安も吹き飛んで充実感に包まれるような気持ちになりました。

コロナによって思ったよりも長く交流を断たれてしまいましたが、演奏者が真剣に演奏している姿や楽しんでパフォーマンスしている姿を見ると、パワーをもらい合うこの時間はやっぱりいいな~と感じました。

皆さんマスクの中はニッコニコ！



みなさん！

よろしくお願いします！

2023年度 新職員紹介



いとう みちな
伊藤 路奈

今年度からリズムと YI プロジェクトの担当になりました伊藤路奈(保育士)と申します。

今までは利用者の皆さんと健康体育の講師として、全身を動かして一緒に活動してきましたが、

今年度からは、利用者の皆さんが作り出す音の世界や、製作活動を共に楽しむことにワクワクしています。

やながわ ゆうこ
柳川 祐子

今年度から療育相談・子ども相談室ででん虫に勤務させていただくことになりました柳川祐子と申します。

個性豊かな利用者の皆さんが、音楽の中で見せてくれる表現に、毎回驚かされたり、触発されたり、考えさせられています。その人らしさが安心して出せ、関わりが生まれる音楽の時間を目指して努力していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

なかい みゆき
中井 深雪

みなさま、はじめまして。4月から、世田谷区にある2つのなごみ保育園の【リズム】を担当することになりました中井深雪と申します

これまで30年ちかく、こどもと精神科領域を専門とする音楽療法士として活動してまいりました。

「音楽リズム」は、乳幼児や発語が未成熟な障がいのある方々にとって、「リトミック」よりもっと言語表現に近い、感情や情動を解放できる時間であって欲しいと考えております。音楽を用いた表現は、かけがえのないコミュニケーション・ツールです。

時はよいよポスト・コロナ。子どもたちとパワフルに、そして情緒豊かに、たくさんの楽曲を通して対話を深め、先生方の保育のやり甲斐までサポートしていけたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



たけむら ふうか
竹村 風花

初めまして！竹村風花です。現在明治大学の2年生で、日本文学を学んでいます。月に2~3回ほどででん虫の音楽療法に携わらせていただいています。初めての体験で分からないことばかりですが、毎回たくさんの気づきがあり楽しく学んでいます。よろしくお願いいたします！

でんでん虫スタッフ紹介

【常勤職員】

渡邊 紀子 (音楽療法士)
栗原 敦子 (保育士・相談支援専門員)
小田嶋 幸子 (音楽療法士) 2023年3月末退職



【非常勤職員】

鈴木 はるみ (音楽療法士・臨床発達心理士)
金澤 朋子 (音楽療法士)
薩川 朋子 (音楽療法士) 2023年3月末退職
市村 真理子 (音楽療法士)
久米 純子 (音楽療法士) 2023年3月末退職
金井 風花 (音楽療法士) 2022年10月退職
田中 多賀子 (言語聴覚士・社会福祉士)
山崎 弘美 (事務)



【講師】

栗本 啓司 (健康体操)
伊藤 路奈 (健康体操)
田中 真一 (太鼓クラブ)
藤高 信男 (サイエンスクラブ)

【2023年度新職員】

中井 深雪 (音楽療法士・保育士)
柳川 祐子 (音楽療法士)
竹村 風花

【退職のご挨拶】

あゆ工房で1年、でんでん虫で14年。15年間大変お世話になりました。
音楽を通して繋がってきた縁がでんでん虫に辿り着いて、たくさんの素敵な出会いに恵まれたことに感謝でいっぱいです。

利用者さんが、音楽の中で開放的に楽しんで自己表現する姿に出会ったり、時には整理のつかない感情と向き合って葛藤する姿に出会うこともありました。その中で私も笑顔にさせられたり、時にはみんなの圧倒的な表現力に自分の感性が追いつかないもどかしさを感じたり、葛藤している時にうまく寄り添えない不甲斐なさを感じたりと、たくさん笑ってたくさん悩んだ日々でした。

利用者さんたちとの数えきれないエピソードや、保護者の皆さんがかけて下さった声は、私の心に大切に記憶されています。私と出会って下さって貴重な時間を共にさせていただき、本当にありがとうございました。皆さまがお元気で笑顔で過ごされることを心から願っています。 小田嶋 幸子